函館 11 R

発走 15：25

第54回 函館2歳ステークス（GⅢ）
（2歳・オープン・国際・特指・馬齢）

芝1200

レコード 1.08.7
モンファボリ
54 武豊
20年6月20日

〔今回推定タイム〕
良 1.09秒台
重 1.10秒台

【ポイント】過去5年で[1]人気馬は1連対。難解な2歳重賞だが、やはり当舞台で新馬勝ちした馬が優勢。今年は5頭該当するが、記録に注目なら**クリダーム・スプレモフレイバー**。どちらも余力十分に09秒台で走破、②着馬も次走で勝ち上がりとレースレベルも高い。その②着馬**ミシェラドラータ・ミスヨコハマ**はキャリア2戦の強み。逆転を狙う。

うまやのはなし

10頭立て以上の経験あるアスク・シンゼン・ロッソ・ゴキゲンサンは穴候補として注。

[1]ロッソランパンテ〔好走可〕
○杉浦師＝口向きの関係で外へ張る面をみせたが、2歳の新馬ともなれば許容の範囲。気性面を考えれば距離短縮もプラスだろう。良馬場条件で期待だね。

[2]オマツリオトコ
○伊藤圭師＝出遅れは想定外だったが、外から追い上げる味のある競馬が出来たのは収穫。ダート→芝で未知な面はあっても力の必要な洋芝ならこなせる。

[3]クリダーム〔上位争〕
○須貝尚師＝初戦がいいパフォーマンス。その後は函館に滞在して調整。今週の本馬場では若干内にもたれたが、フットワークが良かった。ここも楽しみ。

[4]オボロヅキヨ〔着一杯〕
○渡辺師＝初戦は伸び負けしたが、外から追い上げる形も感じ。使って良くなっているが、重賞挑戦だし、時計短縮も課題。

[5]スプレモフレイバー〔上位争〕
○池内助手＝前走は逃げる形もスムーズになっていたわけじゃなく余裕を持ちながら勝てたようにいいパフォーマンスを見せてくれた。ハナへこだわる必要はないし、叩かれて状態面も良化。好結果を出してほしい。

[6]ニシノシークレット〔要注意〕
○村田師＝新馬戦が余裕を持たせた仕上げ、中1週になるけどデキ良好で落ち着きある点もいい。その前走は遊んでいたぐらい余力ある勝ち方。本馬場での稽古も問題なく走りだし、持っている能力から楽しみ。

[7]シンゼンイズモ〔着なら〕
○佐藤助手＝初戦は周りを気にしてラチを頼っていた。前走は外めをスムーズに走らせてラストいい脚。自身も競馬を覚えている段階。相手強化でどこまで。

[8]ミスヨコハマ〔好走可〕
○斎藤誠師＝まだ少し他馬を気にする面はあるが、経験を積んできたぶんレースに行けば大丈夫だと思う。函館の水が合うようでカイバ食いがいいし、脚元もスッキリ。好レースを期待。

[9]ゴキゲンサン〔穴なら〕
○伊藤大師＝緩急の流れに対応できた初戦の内容が優秀。クビ差以上に中身が濃かったし、実戦でのセンスはかなり。引き続き調もいいので楽しみだね。

[10]ミシェラドラータ〔侮れぬ〕
○押田助手＝学習能力が高いようで、2戦目で内容が良化。立ち回りも上手なので、このメンバーでも上位争いができれば。

[11]ニーナブランド〔着なら〕
○高橋裕師＝ここまで間隔が開くので短期放牧を挟んだが、落ち着きあるし、良い息抜きになった感じ。初戦はスピードの違いでハナ切ったが、行く馬がいれば控えられる自在性もあると思うし、千二も十分守備範囲。スムーズに前半進められれば。

[13]アスクドリームモア〔注意〕
○田代助手＝初戦は着差以上に余裕を感じた。力強いキャンターをしているので荒れ馬場は合っているし、連闘でも上積みはある。重賞でも楽しみだね。

本紙の見解　好素質スプレモフレイバー

スプレモフレイバーの新馬戦は35秒4―34秒5のスローペース。時計は開催の2歳戦で2位タイだが、2F11秒3―11秒4でまとめて余裕十分。②④⑤着馬は次走①②①着とメンバーも上質。センス良く、控えても大丈夫。〔小松〕

レース展開

【今年はスピードに任せてというタイプがいない。どの馬がいっても平均～やや速め程度を想定。最終週でも前残りに警戒】

外 ↑ 内
⑥
⑪ ③ ③ ⑤
⑨ ⑩
⑬ ⑫ ⑦ ② ④ ①
逃げ　好位　中団　後方
平均ペース

函館11R 馬単

5⇄8
5⇄3
5⇄10
8⇄3
5⇄9
5⇄1
5⇄11

3連複

3 5 8
5 8 10
5 8 9
1 5 8
3 5 10
3 5 9
1 3 5
5 9 10
1 5 10

3連単フォーメーション

1着 5
2着 1 3 8 / 9 10 11
3着 1 3 8 / 9 10 11
（30点）

データ

	1	2	3	4	5	6
2歳戦向き	10	8	6	9	5	
持ちタイム	3	10	5	8	9	
将来性	3	5	7	10	13	
攻め馬状態	5	10	3	9	1	

スタッフ予想

枠	馬	能力指数	本命党	穴党	重馬場
1	ロッソランパンテ	47	▲	…	…
2	オマツリオトコ	47	…	△	△
3	クリダーム	47	△	…	△
4	オボロヅキヨ	47	…	▲	△
5	スプレモフレイバー	47	◎	△	△
6	シンゼンイズモ	46	△	△	△
7	ミスヨコハマ	46	△	◎	△
8	ゴキゲンサン	46	△	△	△
9	ミシェラドラータ	46	△	△	△
10	ニーナブランド	47	△	△	△
11	ブトンドール	46	△	△	△
12	アスクドリームモア	47	△	△	△
13					

11R 馬番連複

—1—	8 37.1	11 158	
2 108	9 50.1	12 74.8	
3 36.0	10 20.3	13 42.3	
4 125	11 72.6	—7—	
5 30.9	12 34.3	8 99.2	
6 78.5	13 19.4	9 134	
7 96.4	—4—	10 54.2	
8 89.3	5 44.7	11 194	
9 120	6 113	12 91.8	
10 48.8	7 139	13 51.9	
11 174	8 129	—8—	
12 82.6	9 174	9 124	
13 46.7	10 70.6	10 50.2	
—2—	11 239	11 179	
3 45.0	12 119	12 85.0	
4 157	13 67.7	13 48.1	
5 38.6	—5—	—9—	
6 98.2	6 27.9	10 67.8	
7 120	7 34.3	11 232	
8 111	8 31.8	12 114	
9 150	9 42.9	13 65.0	
10 61.0	10 17.3	—10—	
11 213	11 62.1	11 98.3	
12 103	12 29.4	12 46.5	
13 58.4	13 16.6	13 26.3	
—3—	—6—	—11—	
4 52.2	7 87.2	12 166	
5 12.8	8 80.8	13 94.1	
6 32.6	9 109	—12—	
7 40.0	10 44.1	13 44.5	

枠番 馬番 馬名

枠	馬番	馬名	母の父	毛色	性	齢	負担重量	騎手	騎乗成績	クラス賞金	総賞金	厩舎	馬主名	生産牧場	最前3F 高1000 時1200 計1400	距離別勝利	地方成績 兄弟馬
白	1	ロッソランパンテ（キングカメハメハ）	エピファネイア	鹿	牝	2	54	三浦	1 0 0 0	オープン 700	700	杉浦	堀田浩司	新カミイス	東京 37.2①	三1 天1 芝1 以1 上1 ち1 ま1 ダ1 千1 百1	
黒	2	オマツリオトコ（スマートボーイ）	ヴィットリオドーロ	芦	牝	2	54	横山武	1 0 0 0	オープン 700	700	伊藤圭	是枝浩平	ひグランド	東京 1231①		
赤	3	クリダーム（サクラバクシンオー）	ハーツクライ	栗	牝	2	54	武豊	1 0 0 0	オープン 400	400	須貝尚	浦杵臼牧場	函 1003①	函芝 25.0①		
黒	2	オマツリオトコ（マツリバヤシ公営）	ヴィットリオドーロ	芦	牝	2	54	横山武	1 0 0 0	オープン 400	400	伊藤圭	是枝浩平	ひグランド	函芝 34.3①		
白	1	ロッソランパンテ（キングカメハメハ）	エピファネイア	鹿	牝	2	54	三浦	1 0 0 0	オープン 700	700	杉浦	堀田浩司	新カミイス	東京 37.2①		
枠	3	アスクドリームモア（マリンフェスタ3勝 サクラバクシンオー）	キズナ	鹿	牝	2	54	岩田康	0 0 0 0	オープン 400	700	藤原英	函	廣崎利洋HD	天羽牧場	函芝 35.8①	函芝 1111①
枠	3	ブトンドール（プリンセスロック3勝 スウィフトカレント）	ビッグアーサー	鹿	牝	2	54	鮫島駿	1 0 0 0	オープン 400	700	池添学	函	雅苑興業	安ノーザン	函芝 35.5	函芝 1111
橙	7	ニーナブランド（ダンカーク ゼンノロブロイ）	ダンカーク	芦	牝	2	54	横山和	0 0 0 0	オープン 400	400	高橋裕	東	ディアレストク	浦和村木	函芝 35.0① 函芝 57.5①	
橙	7	ミシェラドラータ（クリールソレイユ0勝 フレンチデピュティ）	キングヘイロー	鹿	牝	2	54	池添	0 0 0 0	オープン 400	800	清水久	函	福盛訓之	浦丸村村下	函芝 34.7	函芝 1096②
緑	6	ゴキゲンサン（マチャプチャレ0勝）	リアルインパクト	鹿	牝	2	54	藤岡佑	1 0 0 0	オープン 400	700	伊藤大	東	柳ニッシンHD	浦チェスナ	函芝 34.8①	函芝 1103①
緑	6	ミスヨコハマ（ブレイム）	カレンブラックヒル	黒鹿	牝	2	54	斎藤	1 1 0 0	オープン 400	800	斎藤誠	東	大野富生	安ノーザン	函芝 34.3①	函芝 1102②
橙	7	シンゼンイズモ（キングマンボ）	エピファネイア	鹿	牝	2	54	浜中	0 0 0 0	オープン 400	590	荒川	函	原司郎	盛社台ファ	函芝 35.0①	函芝 1108⑤
黄	5	ニシノシークレット（サウスヴィグラス）	ニシノラビット2勝	青	牝	2	54	勝浦	1 0 0 0	オープン 400	700	村田	東	西山茂行	ひ本桐牧場	函 2 36.6❶ 函 3 59.7❶	函芝 1108①
青	5	スプレモフレイバー（キャレモンショコラ4勝 サクラバクシンオー）	ダイワメジャー	鹿	牝	2	54	吉田隼	1 0 0 0	オープン 400	700	久保田	東	尾田信夫	安ノーザン	函芝 35.4①	函芝 1099①
青	4	オボロヅキヨ（ロイヤルテーラー0勝 ワークフォース）	ダイワメジャー	栗	牝	2	54	松田	0 0 1 0	0	180	渡辺	函	椎名節	浦桑田牧場	函芝 36.7③	函芝 1120③
赤	3	クリダーム（ブークトウショウ0勝 サクラバクシンオー）	ハーツクライ	栗	牝	2	54	武豊	1 0 0 0	オープン 400	400	須貝尚	函	柳インゼルR	浦杵臼牧場	函芝 34.3①	函芝 1095①
枠	3	ブトンドール（プリンセスロック3勝 スウィフトカレント）	ビッグアーサー	鹿	牝	2	54	鮫島駿	1 0 0 0	オープン 400	700	池添学	函	雅苑興業	安ノーザン	函芝 35.5	函芝 1111
枠	3	アスクドリームモア（マリンフェスタ3勝 サクラバクシンオー）	キズナ	鹿	牝	2	54	岩田康	0 0 0 0	オープン 400	700	藤原英	函	廣崎利洋HD	天羽牧場	函芝 35.8①	函芝 1111①

芝1200 函館

〔成績の見方〕
①場所（馬場状態）月日
②競走名　条件　着順
③距離　時計
④体重　ペース　秒差
⑤負担重量　騎手
⑥頭数　枠順　人気
⑦通過順　前半3F
⑧短評　後半3F
⑨1着または2着馬名

Ⓢ…スローペース
Ⓜ…平均ペース
Ⓗ…ハイペース

※通過順の○数字は不利を示す。

| 枠 | 馬 | 母 | 父 | 芝 | ダ | 距離 | 通過 | 通過 | 通過

炸裂！なに和節

谷口　弘晃

ミシェラドラータの初戦で一番目を引いたのは、発達したトモの筋肉。ただ、まだ太かったし出遅れも致命的だった。２戦目は初戦で失敗した点をしっかり修正し、賢さを示して完勝。その２戦ともに末脚の勢いは抜群で、今回は肉体的にも上積み大。狙い撃ちや！

これで勝負
5-10
10-12
5-12
3-10
10-13
2-10
6-10

強気に攻めろ

山下　直人

新馬戦は②着の**ミシェラドラータ**だが、出負けして中団→馬群を割って伸び、ゴール前際どく迫った内容は一番とみて中心に期待。前走はスタートを五分に出ると、差し勢台頭の流れを早めに抜け出す完勝で、走破タイム以上の評価が可能。経験を積んだ強みが出る。

これで勝負
3-10
5-10
3-5
8-10
9-10
6-10
10-11

函館芝1200m ジョッキー連対率ベスト10

①ルメー	.382
②池　添	.310
③藤岡佑	.273
④岩田康	.227
⑤横山武	.224
⑥菱　田	.216
⑦吉田隼	.214
⑧丸　山	.171
⑨丹　内	.155
⑩団　野	.148

2017～2021年 60騎乗以上

1		2		3		4	
1	－	2	－	3	－	4	43.1
2	★	3	44.8	4	10.5	5	12.6
3	43.6	4	28.1	5	20.1	6	13.7
4	27.4	5	53.9	6	21.8	7	10.5
5	52.5	6	58.3	7	16.8	8	8.5
6	56.8	7	44.9	8	13.5	**5**	
7	43.8	8	36.1	**6**		1	★
8	35.2	**7**		1	★	6	26.2
8		7	92.1	7	21.9	7	20.2
8	45.3	8	13.5	8	17.6	8	16.2

①	13.5	⑥	10.5	⑪	21.5 ⑯
②	13.8	⑦	15.3	⑫	10.4 ⑰
③	5.2	⑧	11.4	⑬	7.0 ⑱
④	17.2	⑨	16.5	⑭	
⑤	4.0	⑩	6.8	⑮	

競馬の柏木集保の馬

▽かつて遠い時代には、**函館２歳Ｓ**（当時は３歳Ｓ）の好走馬が翌年のクラシックの主役となった歴史があった。だが、現在は「主流路線」から外れている。短距離路線でも、である▲▽だが、２歳戦の体系も、競走馬の世代回転サイクルも変化している。函館２歳Ｓの存在価値が変化する可能性はある▲▽その観点からすると、新馬勝ち→重賞制覇は、必ずしもエリート路線ではないともいえる。近年では19年のビアンフェが２戦目の未勝利戦勝ち。函館２歳Ｓも伏兵評価での勝利。のちに古馬重賞を制している▲▽**ミシェラドラータ**（父キンシャサノキセキ）は、新馬戦は**クリダーム**（父ハーツクライ）に半馬身届かなかったが、上がり34秒７は、０秒５上回っている。２戦目に稍重で勝ち上がった。父の高松宮記念連覇を含む重賞７勝はすべて５歳以降であり、決して早熟系ではない▲▽３代母ステラマドリッドから発展するファミリーの代表馬はラッキーライラック、ミッキーアイル、アエロリットなど、３歳以降に大きく成長している。ミシェラドラータもやがて…の成長株の可能性を秘める▲▽馬場状態は非常に怪しい。人気薄でも、動きの良かった**ニーナブランド**、**ブトンドール**、**ミスヨコハマ**などを含め、大きく手を広げて買いたい▲

函館２歳ステークス　過去５回の成績

| | | | | |